

# 函館市医療・介護連携推進協議会 情報共有ツール作業部会

## 第15回会議 会議録（要旨）

### 1 日 時

令和4年3月10日（木）19：00～19：30

### 2 場 所

Web開催（Teams）

### 3 出席状況

メンバー：崎野部会長，松野メンバー，大内メンバー，星野メンバー，岡田メンバー，熊倉メンバー，石井メンバー，保坂メンバー，亀谷相談役  
部会運営担当：函館市医療・介護連携支援センター）佐藤，近藤，甲谷，眞嶋  
事務局：函館市地域包括ケア推進課）栗田主任主事

### 4 議 事

#### ○報告事項

- （1）モニタリングの結果について（資料1）
- （2）ほくと・ななえ医療・介護連携支援センターサマリー研修会について
- （3）医療・介護連携におけるID-Linkの普及に向けた動きについて（資料2）

#### ○協議事項

- （1）はこだて医療・介護連携サマリーQ&Aおよびモニタリング集計結果について（資料3）
- （2）サマリーおよびマニュアルの修正箇所について（資料4）
- （3）次年度研修会について

### 5 その他

次回の部会日程について

### 6 会議の内容

#### 栗田医療・介護連携担当

函館市地域包括ケア推進課の栗田と申します。よろしくお願ひいたします。

ただ今から、函館市医療・介護連携推進協議会の情報共有ツール作業部会の第15回会議を開催いたします。本日は、ウェブ会議となっております。カメラはONのままにしてください、ミュートは発言時に解除してください。発言時には、画面上でわかりづらい事があるので、氏名を名乗ってください。事務局の操作等で不慣れな点もあるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

前回の会議でも確認しておりますが、この会議は原則公開により行いますので、ご了承願います。

次に、第14回の会議録についてですが、事前に各メンバーの皆様を確認をさせていただきました。事務局の方からは、特に修正の意見等ございませんでしたので、原案どおりで、第14回会議録を確定させていただき、市のホームページ上で公開させていただきたいと思っております。

次に欠席者についてです。本日は、新たにメンバーとしてご就任いただきました、北海道看護協会道南南支部の紺野メンバーが所用により欠席となっております。また、居宅連協の小平メンバー、訪リハ連協の吉荒メンバーからも、所用により欠席とのご連絡をいただいております。加えて亀谷相談役からは、少々遅れるとのご連絡をいただいております。

それでは、本日の資料を確認させていただきます。事前に、出席者名簿のほか、会議次第、資料1～4までの合計6部を送付しております。お手元にご準備をお願いいたします。

本日の会議の議事の進行につきましては、皆様の特段のご配慮とご協力をお願いいたします。それでは崎野部会長、よろしく申し上げます。

## 崎野部会長

皆様、こんばんは。市立函館病院の崎野でございます。本日の会議は、ウェブでの開催となっております。一時期に比べると、コロナ患者数は少なくなりましたが、まだまだ函館でも連日、二桁の新規感染者がいるということで、まん延防止の延長も致し方ないと思っております。

皆様は、ウェブ会議等、何度もやられて慣れていると思っておりますので、議事が滞りなく進みますよう、特段のご配慮をよろしくをお願いいたします。

それでは、次第に従い議事を進めてまいりたいと思っております。報告事項(1)「モニタリングの結果について」および、(2)「ほくと・ななえ医療・介護連携支援センターサマリー研修会について」、佐藤幹事からご説明をお願いいたします。

## 佐藤幹事

それでは、報告事項(1)「モニタリングの結果について」および、(2)「ほくと・ななえ医療・介護連携支援センターサマリー研修会について」、続けてご報告させていただきます。資料1をご覧ください。

まず、はこだて医療・介護連携サマリーの活用状況調査についてですが、医療・介護関係機関、417ヶ所に配信し、回答件数は157件でした。回答率は前回より少し上がり、38%となっております。そのうち、(1)の情報共有に活用したことがあるかについて、「はい」と答えた件数は90件となっており、全体の約57%を占めています。また、「いいえ」と答えた件数は67件で、全体の約43%を占めています。「いいえ」と回答した理由の内訳は、ご覧のとおりですが、やはりこれまでどおり「その他」の回答が67件中49件と多く、全体の73%を占めています。

この「その他」の項目の内訳については、資料1の3ページ目をご覧ください。集計結果によると、「その他」の中でさらに「その他」と答えた件数が多くなっておりますが、その理由としましては、「普段使用している様式の他に、さらにサマリーを作成する時間的余裕

がない」、「業務多忙のため」というご意見がありました。とはいえ、「作成はしたことはないが情報としては活用している」、「ケアマネジャーからサマリーの基本情報を入居時にいただくことがある」等、サマリーをもらう、見る機会があるという意見も、徐々に寄せられるようになってきました。

(2)の何件サマリーを作成したかとの問いについては、最大で600件作成したとの回答をいただいております。サマリーが作成された合計件数は1,913件で、1機関あたりの平均活用件数は、21件となっております。今回、普段回答をいただいている医療機関からの回答が得られず、作成件数の合計と平均件数が、前回より下回る結果となりました。(2)の「どのような機会に作成し、活用しているか」と、ウの「頻度」に関しては、ご覧のとおりです。

(3)サマリーの内容見直しの必要性に関しては、「見直しの必要性がない」という回答が圧倒的に多く、157件中113件で全体の72%を占めております。未回答の件数が31件で全体の20%を占めており、この2つを合わせると92%となります。このことから、大多数が「見直しの必要性はない」と考えている状況になっていると読み取れます。

これ以降の資料には、サマリーを作成していない理由や、見直し等についての意見を抜粋し、掲載しております。これらの中で、確認や回答を必要と判断した9件の意見に対しては、コアメンバーの皆さんにもご協力いただき、個別に連絡して解決策等をお伝えし、了承をいただいております。また、「存在を知らなかった」や、「見たことがなかった」というような意見が2件ほどありましたが、こちらはコロナの感染状況が落ち着きましたら、一度ご説明にお伺いしたい旨を連絡し、了承いただいております。

続きまして、(2)「ほくと・ななえ医療・介護連携支援センターサマリー研修会について」をご説明いたします。

部会メンバーの岡田先生をはじめ、コアメンバーの皆さんにご協力いただき、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センターで作成した「はこだて医療・介護連携サマリー説明会」の動画については、完成後、2月15日～3月6日の期間で北斗市、七飯町の医療・介護関係者に向けて公開いたしました。

この時に行ったアンケート調査では、「函館は素晴らしいことをやっている」、「岡田先生のお話がとても分かりやすく、面白くて毎回勉強になっている」、「医療だけではなく介護の職種でも活用が可能なことは初めて知った」といった意見が寄せられており、動画研修の効果が期待できるのではないかと感じております。

時期をみて函館市でも同じ動画を公開していく予定ですので、これまでサマリーの説明を聞いたことがないという方や、既に知っている方、活用されている方に対しても、改めてご理解いただける機会となり、先にご報告しましたモニタリング調査の結果にも、今後反映されてくるのではないかと期待しているところです。

報告事項(1)、(2)については、以上でございます。

## 崎野部会長

佐藤幹事、ありがとうございます。

それでは、報告事項(1)、(2)に関しまして、皆様からご発言をいただきたいと思っております。

ご質問、ご意見等がありましたら挙手をお願いいたします。（なし）

皆さん、よろしいでしょうか。それでは次の議事に進めさせていただきます。

（3）「医療・介護連携におけるID-L i n kの普及に向けた動きについて」に関して、こちらは事務局の栗田主任主事よりご説明をお願いいたします。

## 栗田主任主事

函館市の栗田です。

佐藤幹事からの報告の前に、昨年10月の部会で協議した、ICTの議事に関してですが、昨年11月29日に開催されました「函館市医療・介護連携推進協議会令和3年度第1回会議」で顧問、委員の皆様にお諮りした結果について、ご報告をさせていただきます。念のため内容を申し上げますと、道南メディカとの連携、そしてICTの有用性の情報発信、これらを医療・介護連携支援センターの取り組みに位置付けて、周知・啓発を進めていきたいということを、この部会の総意として、親会議である函館市医療介護連携推進協議会の協議事項としたところでありました。結論としましては、この内容で進めるということについて、顧問・委員の皆様からの反対意見はなく承認されましたので、ご報告いたします。

その後の動きに関しまして、佐藤幹事からよろしくをお願いいたします。

## 佐藤幹事

それでは、引き続きご説明させていただきます。資料2をご覧ください。

今、栗田さんからもご報告がありましたように、道南メディカとの連携やICTの有用性の情報発信を、当センターの取り組みとして位置付けることについては、前回部会後に行われた協議会にて承認されました。今後は介護関係者の皆さんに向けて周知を進めていくこととなっております。そのため、介護関係者にID-L i n kの活用を勧めるにあたり、課題を抽出し適切な運用のあり方を検討する場として、WGを設置いたしました。構成メンバーは資料2に掲載しているとおりです。このWGにて検討された内容については、メディカ運営委員会で協議事項として諮り、承認を得た上で実施することとなっております。

WGの開催状況等についてですが、まず第1回目を市立函館病院にて開催し、いくつか予測される課題について協議いただきましたが、実際に運用してみなければ課題が明確にならないのではという意見があり、試験運用を実施する方向で検討しました。

2回目のWGでは、高橋病院の高橋肇先生から資料2に記載しているテーマでご講義いただき、「メディカを介護関係者に広めるにあたっての標準的な考え方」として今後のWGでの検討の土台となるようなお話をいただきました。高橋先生のお話を参考に、今後も検討していきたいと思っております。

また、昨日3月9日に開催した3回目のWGでは、試験運用の方法等についての詳細を検討いたしました。医療・介護間でのID-L i n kによる連携促進に向けて、課題の確認、介護側が必要な情報や機能について把握することを目的に、市立函館病院、高橋病院、訪問看護ステーションフレンズにご協力いただき、今後は試験運用を実施していくこととなっております。

この3回のWG開催の間、検討内容についてはその都度メディカ運営委員会に報告し、承

認をいただいております。本部会でも、今後もWGの活動については適宜ご報告してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

報告事項（3）「医療・介護連携におけるID-Linkの普及に向けた動きについて」の説明は以上です。

## 崎野部会長

栗田主任主事，佐藤幹事，ありがとうございました。

それでは，報告事項（3）に関して，皆様からご発言をいただきたいと思ひます。ご質問，ご意見のある方は，挙手をお願いいたします。（なし）

こちらも皆さんないようですね。では次に進んでよろしいでしょうか。

それでは次に，協議事項（1）「はこだて医療・介護連携サマリーQ&Aおよびモニタリング集計結果について」および，協議事項（2）「サマリーおよびマニュアルの修正箇所について」を続けて，佐藤幹事からご説明をお願いいたします。

## 佐藤幹事

協議事項（1）および協議事項（2）についてご説明いたします。資料3をご覧ください。

サマリーについてのモニタリング調査で寄せられた意見の中には、「文字を大きくしてほしい」というものがありました。過去に回答した内容と同様になりますが，ID-Linkについてもお知らせしたいと思ひ，Q&A集のA1の最後に，新たな文章を3行追加しました。センターの取り組みとしてID-Linkの活用推進も位置づけられたことにより，このような形でもID-Link普及のための発信をすることが可能となりました。今回はID-Linkについて少しでも関心を持ってもらうきっかけになればと考へ，このご意見をQ&Aに掲載しようと思ひております。そして，今後もさまざまな場面でID-Linkの活用を広める機会を持っていきたいと思ひます。資料3の裏面は，これまでと同様に，モニタリングの集計結果をグラフにしたもので，当センターホームページで公開する予定です。

続きまして，協議事項（2）サマリーおよびマニュアルの修正箇所について，ご説明いたします。今回の修正案はモニタリング調査で寄せられた意見によるものではなく，センターからの提案となります。資料4をご覧ください。

応用ツール②褥瘡管理に関して，こちらで「褥瘡状態評価スケール」として活用しているDESIGN-Rですが，2020年12月に「DESIGN-R2020」として改訂されておりました。資料4の最後のページに参考資料として，主な変更点について日本褥瘡学会から出されているテキスト本の抜粋を添付しております。

この変更点を応用ツールに反映して修正したものが，資料4の1ページ目にある青字の部分です。それぞれの評価の説明については，コメント欄に掲載されている内容を今回の改定に合わせて修正していきたいと思ひます。また，この修正に伴って，記載例マニュアルの最後に掲載してある参考のうち，「DESIGN-R」を「DESIGN-R2020」に修正したいと思ひます。その他，函館市のホームページに掲載されておりました，認知症管理のページですが，内容が若干新しくなっており，各事業の名称が変更されたり追加されたり等がございましたので，こちら併せて修正していきたいと思ひております。

Q&A集およびモニタリング集計結果の確定，サマリーとマニュアルの修正について，皆

様にご協議・ご承認いただければと思います。協議事項（１），（２）の説明は以上です。

### 崎野部会長

佐藤幹事，ありがとうございます。

それでは，協議事項（１），（２）の説明にありました，Ｑ＆Ａおよびモニタリング集計結果の内容，サマリーとマニュアルの一部修正についてご協議いただければと思います。

皆様からご質問，ご意見はございませんか。ご意見のある方は，挙手をお願いいたします。

### 岡田メンバー

こういうサマリーをアップデートしていくのは，とても大切なことだと思います。ＷＯＣなどの様々な専門家がいると思うので，ぜひ他の分野もどんどんアップデートして，新しいことをしっかりみんなで共有できればいいと思います。

介護関係の方々もなかなか分からないこともあるかもしれないので，そういう内容の研修会もやっていただけると良いなと思いました。

### 崎野部会長

岡田先生，ありがとうございます。

他に皆様から何かございませんでしょうか。それでは，この件に関しましては，皆様，ご承認ということでよろしいでしょうか。（異議なし）

では，この件に関しましては，承認とさせていただきます。

次に，協議事項（３）「次年度研修会について」に関して，佐藤幹事からご説明をお願いいたします。

### 佐藤幹事

協議事項（３）についてご説明いたします。

先ほど，報告事項（２）にてお伝えしたサマリー説明会の動画研修もありましたが，今年度はＩＤ－Ｌｉｎｋについてお伝えできる研修会も開催できればと考えております。ＩＤ－Ｌｉｎｋの便利さ，安全さをご理解いただき，サマリーの双方向共有を含めてＩＤ－Ｌｉｎｋを活用した連携が進んでいくことを目的に，実施していきたいと考えており，サマリーとＩＤ－Ｌｉｎｋのコラボによる，互いの活用推進が進んでいくのではないかと期待しているところです。

これまで行ってきた入退院支援連携強化研修会についても，コロナの感染状況をみながら開催の機会を持ちたいと考えておりますが，ＧＷがメインの研修となるため，状況によっては開催が難しい可能性もあるかと考えております。今回，ツール部会の研修の企画としましては，ＩＤ－Ｌｉｎｋ活用推進の研修を優先的に企画していきたいと考えております。

協議事項（３）「次年度研修会について」に関しての説明は以上です。この件につきましても，皆様にご協議・ご承認いただければと思います。

### 崎野部会長

ありがとうございます。それでは，協議事項（３）の説明にありました，「次年度研修会

について」をご協議いただければと思います。

何かご質問、ご意見はございませんか。なければ、この件に関しましても、ご承認ということにさせていただきます。ありがとうございます。

それでは、次回の部会について、運営担当の幹事からご説明をお願いいたします。

### **佐藤幹事**

皆様、ありがとうございます。

次回の部会は、次回行うモニタリング調査の集計後に開催できればと考えておりますが、協議等を要する事項がありましたら、適時ご案内させていただきます。改めて日程等を各メンバーの方々にお伺いして開催しようと考えておりますので、ご了承願います。

### **崎野部会長**

ありがとうございました。

最後に、全体を通して何かご意見・ご質問等はございませんか。なければ、全ての議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

### **栗田医療・介護連携担当**

崎野部会長、どうもありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、函館市医療・介護連携推進協議会の情報共有ツール作業部会の第15回会議を終了いたします。

皆様お疲れさまでした。